

《3S》 清掃
さあ、モップをもとう

矢萩技術士事務所
2008/1/23

《3S》清掃 ゴミ・汚れなし作戦

清掃とは

掃除をして、ゴミ、汚れのないきれいな状態にすると同時に、細部まで点検すること。
「清らかに掃除する」が言葉の意味です。

清掃のポイント

「剥す」「叩く」「掃く」「拭く」「磨く」の順番で、根気強く繰り返します。清掃を通して、普段と違う現象や異常を発見し、手を打つことが肝心です。なお、電気掃除機は「吸い取る」で「拭く」「磨く」はできません。この「拭く」「磨く」は、最も身近な点検行為であり、汚れっ放しの設備はトラブルが多いものです。

清掃は点検なり
TPM

設備を磨き
腕を磨き そして
ヒトを磨く

XX工業

清掃の進め方

①まず汚れを取り除く。＜一斉大清掃＞

- ・ホウキ、モップ、雑布を持って徹底的に清掃を行います。
- ・全員参加で、進んでホウキを持ちます。

②ヒトの五感を中心に点検。＜清掃点検＞

- ・床の凹凸は運搬が大変、製品に見えないキズを付けたり、オシャカがでます。
また、安全上からも問題です。
- ・
- ・
- ・

③汚れの根源を突き止め、元から断つ。＜発生源 & 困難箇所対策＞

- ・
- ・
- ・
- ・

④清掃基準を作成し、全員で実行。＜ ＞

- ・
- ・

⑤清掃用具にも5Sを実施。＜清掃 ＞

- ・清掃用具を効率的なものに工夫しましょう。また、ホームセンターの力を使おう。
- ・

清掃は点検なり

現場の自主保全の基本条件は「**清掃**」
「**給油**」「**増締め**」の3条件を行うことである

また、**日常点検は1ヶ月以内**のことをいう。

初期清掃

F付け

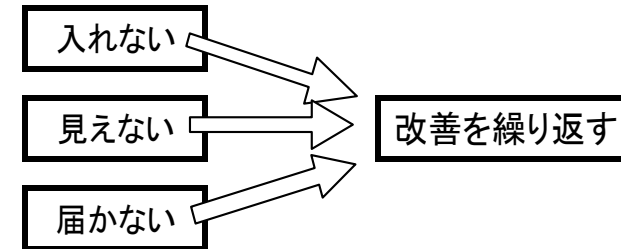
まず改善の前に復元です！

発生源・困難個所対策



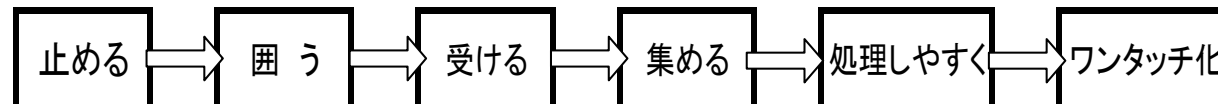
**なぜ？なぜ？と繰り返して
根本原因をつかもう！**

困難個所対策



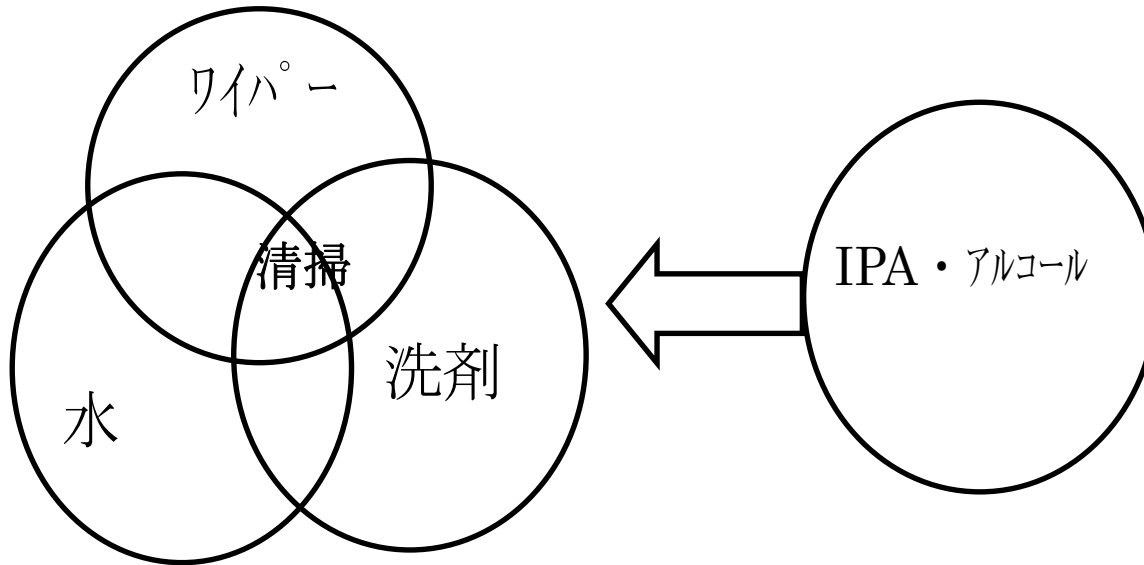
発生源対策

汚れ、ゴミ、漏れ等の発生源を把握して改善することであり



考えながらの清掃

拭き掃除の三要素



沢山問題を見つけましょう！

最後に、

「実力とは

」